

(平成21年5月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>5月期の野菜の入荷状況は、全般に生育期の天候不順による作柄不良が見られ、品目により入荷状況は異なるものの、葉菜類、土物類で入荷減となる品目が目立ち、野菜全体の入荷量としては前年同期を5%下回った。</p> <p>価格は、根菜類は需要の低迷によって単価安となったが、葉菜類、土物類は全国的な品薄状態から単価高となり、野菜全体としては前年同期を3%上回った。</p> <p>品目別には、西洋にんじんが入荷増の単価安、キャベツ、レタス、ばれいしょ、玉葱が入荷減の単価高となり、長大根、きゅうり、ピーマンは入荷減の単価安、はくさい、トマトは入荷増の単価高となった。また、なすは入荷前年並みの単価安となった。</p> <p>根菜類は、入荷が8%減少し、価格は18%安となった。 葉菜類は、入荷が5%減少し、価格は15%高となった。 果菜類は、入荷が前年並みで、価格も前年並みとなった。 土物類は、入荷が4%減少し、価格は13%高となった。</p>
果 実	<p>5月期の果実の入荷状況は、天候不順や作付面積の減少などから入荷減となった品目が多く見られたが、りんご類が前進出荷による入荷増となり、果実全体の入荷量としては前年並みとなった。</p> <p>価格は、品質良好だったメロン類に需要が集中して単価高となったものの、他の品目については下位等級の割合が多かったことから単価安となったものが多く、果実全体としては前年同期を4%下回った。</p> <p>品目別には、ふじりんごが入荷増の単価安、いちご類、アールスメロンが入荷減の単価高となり、甘夏柑が入荷前年並みの単価安、アンデスメロンが入荷増の単価高、大玉スイカが入荷減で前年並みの単価となった。</p> <p>柑橘類は、入荷が前年並みで、価格は5%安となった。 りんご類は、入荷が15%増加し、価格は14%安となった。 いちご類は、入荷が13%減少し、価格は5%高となった。 メロン類は、入荷が13%減少し、価格は5%高となった。 スイカ類は、入荷が9%減少し、価格は前年並みとなった。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
<p>【根菜類】 長大根</p>	<p>長崎県，千葉県を中心に，鹿児島県，石川県，和歌山県からの入荷。主力である長崎県，千葉県が3月の降雨による播種面積の減少から入荷減となり，全体の入荷量は前年同期を15%下回った。</p> <p>価格は，前月までの高値による反動から，入荷減ながら前年同期を3%下回った。</p>
<p>西洋人参</p>	<p>徳島県を中心に，長崎県，兵庫県からの入荷。各産地とも天候不順による収穫作業の遅れから太物中心の入荷となり，入荷量は前年同期を6%上回った。</p> <p>価格は，単価の安い太物中心での入荷に加え，前年が極端な単価高で推移したことから前年同期を48%下回った。</p>
<p>【葉菜類】 はくさい</p>	<p>茨城県を中心に，鹿児島県，大分県，長野県，熊本県からの入荷。生育期の天候不順によって作柄が悪かったものの，中央集散機能の発揮により入荷量は前年同期を17%上回った。</p> <p>価格は，入荷増ながら，全国的な品薄状態から引き合いは強く，前年同期を17%上回る結果となった。</p>
<p>キャベツ</p>	<p>京都府，兵庫県を中心に，愛知県，神奈川県，茨城県からの入荷。生育期の天候不順によって作柄は悪く，全国的な品薄状態だったことから，入荷量は前年同期を14%下回った。</p> <p>価格は，全国的な品薄状態から極めて単価高で推移し，前年同期を81%上回った。</p>
<p>ほうれんそう</p>	<p>岐阜県，京都府，滋賀県を中心に，茨城県，奈良県からの入荷。各産地とも生育期の天候不順によって不安定な入荷状況となり，全体の入荷量は前年同期を3%下回った。</p> <p>価格は，入荷減ながら，全国的な出回り量は多く前年並みとなった。</p>
<p>レタス</p>	<p>長野県，兵庫県を中心に，茨城県，群馬県，山梨県からの入荷。生育期の天候不順によって作柄は悪く，中央集散機能が発揮されたものの，入荷量は前年同期を4%下回った。</p> <p>価格は，全国的な品薄状態から引き合いは強く，前年同期を32%上回った。</p>

<p>【果菜類】 きゅうり</p>	<p>宮崎県，高知県，滋賀県を中心に，福岡県，愛媛県からの入荷。 各産地とも，前月の好天による結果過多の反動で樹勢の低下が見られ，当月の入荷量は前年同期を11%下回った。 価格は，入荷の集中した上旬が単価安となり，全体では前年同期を7%下回った。</p>
<p>なす</p>	<p>高知県を中心に，岡山県，滋賀県，京都府，徳島県からの入荷。 各産地とも生育期の曇天や低温によって作柄が悪かったものの，入荷量は前年並みとなった。 価格は，天候不順の影響から下位等級の割合が多く，前年同期を17%下回った。</p>
<p>トマト</p>	<p>熊本県を中心に，福岡県，三重県，京都府，奈良県からの入荷。 各産地とも生育期の曇天や低温により作柄は悪かったが，中央集散機能の発揮により入荷量は前年同期を3%上回った。 価格は，全国的に品薄状態のため，前年同期を19%上回った。</p>
<p>ピーマン</p>	<p>宮崎県を中心に，高知県，茨城県，鹿児島県からの入荷。 各産地とも生育期の曇天や低温によって作柄が悪く，入荷量は前年同期を10%下回った。 価格は，作柄不良によって下位等級の発生が多く，前年同期を6%下回った。</p>
<p>【土物類】 ばれいしょ (メイク含む)</p>	<p>長崎県を中心に，鹿児島県，熊本県，北海道，静岡県からの入荷。 各産地とも天候不順によって作柄が悪く，全国的な品薄状態から前倒し出荷を行ったことで小玉傾向の入荷となり，入荷量は前年同期を6%下回った。 価格は，全国的な品薄状態により，小玉傾向での入荷ながら前年同期を15%上回った。</p>
<p>たまねぎ</p>	<p>兵庫県を中心に，佐賀県，北海道，長崎県からの入荷。 新物については，前月から続く全国的な品薄状態から前倒し出荷されたものの，小玉傾向での入荷となり，入荷量は前年同期を4%下回った。 価格は，全国的な品薄状態により，前年同期を48%上回った。</p>
<p>【その他野菜】 生しいたけ</p>	<p>徳島県を中心に，和歌山県，広島県，岡山県，北海道からの入荷。 広島県，岡山県での増産以降安定した入荷状況であり，入荷量は前年同期を3%上回った。 価格は，不況により上位等級の需要が低迷し，全体としては前年同期を5%下回った。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏柑	<p>愛媛県を中心に，福岡県，熊本県，和歌山県，広島県からの入荷。福岡県での生産面積減少による入荷減を，他産地からの集荷で補い，全体の入荷量は前年並みとなった。</p> <p>価格は，下位等級の割合が多く，前年同期を9%下回った。</p>
ふじ （サン含む）	<p>青森県からの入荷。</p> <p>産地在庫に品質の劣化が見られたことから前進出荷となり，入荷量は前年同期を15%上回った。</p> <p>価格は，入荷増により前年同期を16%下回った。</p>
いちご	<p>福岡県，熊本県を中心に，大分県，佐賀県，長崎県からの入荷。各産地とも天候不順により作柄が悪く，入荷量は前年同期を13%下回った。</p> <p>価格は，入荷減により前年同期を5%上回った。</p>
アールス	<p>静岡県を中心に，熊本県，高知県，宮崎県からの入荷。</p> <p>各産地とも加温用重油の高騰によって減少していた生産面積は徐々に回復しているものの，入荷量は前年同期を13%下回った。</p> <p>価格は，入荷減に加え品質も良好で，前年同期を14%上回った。</p>
アンデス	<p>熊本県を中心に，茨城県からの入荷。</p> <p>各産地とも天候不順により生育の遅れていたものが当月に集中し，入荷量は前年同期を15%上回った。</p> <p>価格は，大玉傾向で品質も良好だったことから需要が集中し，入荷増ながら前年同期を4%上回った。</p>
大玉スイカ	<p>熊本県を中心に，長崎県，愛知県，高知県からの入荷。</p> <p>天候不順から生育の遅れていたものが当月に集中入荷したものの，各産地とも前年の加温用重油高騰によって生産面積が減少しており，入荷量は前年同期を9%下回った。</p> <p>価格は，入荷減ながら下位等級の割合が多く前年並みとなった。</p>